

Ⅲ. 財務の概要

目次

INDEX

1. 学校法人会計（財務3表）について	47
2. 決算の概要	48
(1) 資金収支計算書（活動区分含む）について	48
(2) 事業活動収支計算書の概要について	49
(3) 貸借対照表の概要について	50
(4) 財務状況の5ヵ年推移について	51
(5) 財務比率の5ヵ年推移について	54
3. その他	56
4. 経営上の課題、今後の方針・対応方策	56

1. 学校法人会計（財務3表）について

資金収支計算書	1	当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入および支出(未収入金、未払金等を含む)の内容を明らかにします。
	2	当該会計年度における支払資金の収入および支出のてん末(期末資金残高)を明らかにします。
事業活動収支計算書	1	当該会計年度の次に掲げる活動に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにします。 A 教育活動収支【経常的】 B 教育活動以外の経常的な活動収支【経常的】 C 特別収支(AおよびB以外の活動収支)【臨時的】
	2	上記の各区分の合計から基本金組入額を控除した、当該会計年度の諸活動に対応するすべての事業活動収入および事業活動支出の均衡の状態を明らかにします。 区分の内容 ①教育活動収支 経常的な収支のうち、本業の教育活動の収支状況を見ます。 ②教育活動外収支 経常的な収支のうち、財務活動(銀行取引、収益事業等)による収支状況を見ます。 ●経常収支(①+②) 経常的な収支バランスを見ます。 ③特別収支 資産売却や処分等の臨時的な収支を見ます。 ●基本金組入前当年度収支差額(①+②+③) 毎年度の収支バランスを見ます。 ●基本金組入額 学校法人を維持するために必要な資産を継続的に保持する組入額です。
貸借対照表	1	年度末時点の学校法人の財政状態をまとめた計算書であり、資産、負債、純資産（基本金、繰越収支差額）の状態を明らかにします。
	2	単年度ではなく、学校法人設立以来の累積の残高を表しています。 ●資産の部合計 資産をどのような形で保有しているかを表しています。 (建物等の固定資産or現金等の流動資産) ●負債及び純資産の部合計 資産をどのように調達したかを表しています。 (借入金等の他人資本or自己資本) ・第1号基本金 自己資金による有形固定資産(校地、校舎、機器備品、図書等)の取得価格 ・第2号基本金 将来計画資産を取得する目的で積み立てた預金等の額 ・第3号基本金 奨学基金等の基金の額 ・第4号基本金 運営に必要な運転資金の額(文部科学省が定める算式により計算)

2. 決算の概要

(1) 資金収支計算書 (活動区分含む) について

(単位：億円)

科目	予算	決算	差異
収入の部			
① 学生生徒等納付金収入	331	330	0
手数料収入	10	9	1
寄付金収入	6	5	1
② 補助金収入	59	59	1
(国庫補助金収入)	(43)	(41)	1
(地方公共団体等補助金収入)	(17)	(17)	△ 1
③ 資産売却収入	370	217	152
付随事業・収益事業収入	12	11	0
④ 受取利息・配当金収入	11	14	△ 3
雑収入	11	13	△ 2
借入金等収入	50	50	0
前受金収入	59	59	0
その他の収入	68	68	0
資金収入調整勘定	△ 63	△ 70	7
前年度繰越支払資金	161	161	0
収入の部合計	1,084	926	158
支出の部			
⑤ 人件費支出	217	215	2
⑥ 教育研究経費支出	107	96	11
⑦ 管理経費支出	24	21	3
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	38	38	0
⑧ 施設関係支出	76	67	9
⑨ 設備関係支出	14	12	2
資産運用支出	418	288	130
その他の支出	30	30	0
[予備費]	13		13
資金支出調整勘定	△ 11	△ 17	7
翌年度繰越支払資金	157	176	△ 19
支出の部合計	1,084	926	158

教 教育活動 施 施設整備等活動 他 その他の活動

資金収入の部

- ① 学生生徒等納付金収入 **教**
学生・生徒数は、全体で25,387人となり、全体で330億円の収入となりました。
- ② 補助金収入 **教 施**
補助金収入全体で、59億円の収入がありました。
国庫補助金は経常費等補助金で22億円、授業料等減免費交付金で15億円の収入があり、施設整備費補助金としては、工大大宮キャンパス5号館新築等工事で5億円が採択されました。
- ③ 資産売却収入 **施 他**
有価証券、金銭信託の償還および摂大枚方キャンパス薬樹園の売却により217億円の収入となりました。
- ④ 受取利息・配当金収入 **他**
全体で14億円の利息・配当金収入がありました。

資金支出の部

- ⑤ 人件費支出 **教**
教育・職員人件費および役員報酬支出、退職金支出で215億円の支出となりました。
- ⑥ 教育研究経費支出 **教**
授業料等減免費交付金に対する奨学費支出のほか、工大大宮キャンパス5号館新築等工事に係るインフラ盛替え工事が行われました。
- ⑦ 管理経費支出 **教**
学生生徒募集等に係る広告費・印刷製本費、通学バス運行に係る会費負担金を支出しました。また、学園創立100周年記念事業として支出したほか、事務系システムの運用保守費、食堂厨房や学生寮等の施設設備の修繕・保全に係る経常的経費を支出しました。

<参考> 活動区分資金収支計算書

(単位：億円)

区分	予算	決算	差異	
教育活動	収入計	421	420	1
	支出計	349	332	17
	調整勘定等	△ 2	1	△ 4
	収支差額	70	90	△ 20
施設整備等活動	収入計	16	16	0
	支出計	90	79	10
	調整勘定等	5	1	4
収支差額	△ 68	△ 62	△ 6	
その他の活動	収入計	478	328	150
	支出計	471	341	130
	調整勘定等	0	0	0
	収支差額	7	△ 12	20
支払資金の増減額	9	15	△ 6	
[予備費]	13		13	
前年度繰越支払資金	161	161	0	
翌年度繰越支払資金	157	176	△ 19	

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

※ 主な科目の()は内数です。

主な施設・設備関係支出

- ⑧ 施設関係支出 **施**
 - ▶ 工大大宮キャンパス5号館新築等工事
 - ▶ 工大大宮・常翔中高第2部室センター建替工事
 - ▶ 摂大寝屋川キャンパス3号館新築工事
 - ▶ 常翔啓光中高グラウンド人工芝工事
- ⑨ 設備関係支出 **施**
 - ▶ 各大学教育研究設備
 - ・工大 ファイバレーザ加工機
 - ・摂大 寝屋川キャンパス3号館に係る教室用什器、無線アクセスポイントおよびフルカラーLEDビジョン等

<参考> 活動区分資金収支計算書

資金収支計算書を3活動に区分して記載したものです。
支払資金は15億円の収入超過となりました。

(2) 事業活動収支計算書の概要について

(単位：億円)

科目		予算	決算	差異
教育活動収支	学生生徒等納付金	331	330	0
	手数料	10	9	1
	寄付金	4	3	1
	経常費等補助金	54	54	1
	付随事業収入	12	11	0
	雑収入	11	13	△ 2
	収入計	421	420	1
	人件費	218	215	3
	(退職給与引当金繰入額)	(16)	(14)	(1)
	教育研究経費	161	150	10
	(減価償却額)	(54)	(54)	(0)
	管理経費	31	27	4
(減価償却額)	(6)	(6)	(0)	
徴収不能額等	0	0	0	
支出計	409	392	17	
収支差額	12	28	△ 16	
教育活動外収支	受取利息・配当金	11	14	△ 3
	収入計	11	14	△ 3
	借入金等利息	0	0	0
	支出計	0	0	0
収支差額	11	14	△ 3	
経常収支差額	23	42	△ 19	
特別収支	資産売却差額	8	10	△ 2
	その他の特別収入	8	9	0
	収入計	16	19	△ 3
	資産処分差額	2	1	1
	その他の特別支出	0	0	0
	支出計	2	1	1
収支差額	14	17	△ 3	
[予備費]	10		10	
基本金組入前当年度収支差額	28	60	△ 32	
基本金組入額	△ 70	△ 49	△ 20	
当年度収支差額	△ 42	11	△ 53	
前年度繰越収支差額	△ 265	△ 265	0	
基本金取崩額	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△ 307	△ 254	△ 53	
(参考)				
事業活動収入計	449	454	△ 5	
事業活動支出計	421	394	28	

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

※ 主な科目の()は内数です。

教育活動収支

経常的な収支のうち、教育・研究活動による収支です。

収入は、学生生徒等納付金、手数料、経常費等補助金、付随事業収入等で420億円となりました。

支出は、人件費、教育研究経費、管理経費等で392億円となり収支差額は28億円の収入超過となりました。

予算額との比較

支出減額の主な要因は、授業料等減免費交付金の申請が見込みより少なかったことによる奨学費の減額や新型コロナウイルス感染症防止の影響（オンライン対応等）による教育研究経費・管理経費の減額が挙げられます。

教育活動外収支

経常的な収支のうち、財務活動による収支です。

受取利息・配当金は14億円となりました。

経常収支差額 (9.8%)

「教育活動収支差額 28億円」と「教育活動外収支差額 14億円」の合計で、42億円の収入超過となりました。

特別収支

経常収支以外の臨時的な収支です。資産の売却や処分による収支、施設設備に係る寄付や補助金等の収入があります。

資産売却差額（収入）では、退職年金引当特定資産の売却等により全体で10億円の収入があったほか、その他の特別収入では、施設整備等に係る補助金で5億円の収入がありました。

資産処分差額（支出）では、建物・構築物・教育研究用機器備品・管理用機器備品・図書等の処分差額がありました。

基本金組入前当年度収支差額 (13.2%)

「経常収支差額 42億円」と「特別収支差額 17億円」の合計で、60億円の収入超過となりました。

基本金組入額

主な第1号基本金への組入額は以下のとおりです。

- ▶ 2022年度摂大寝屋川キャンパス3号館新築工事
- ▶ 2019年度工大大宮キャンパス4号館建設および摂大寝屋川キャンパス日本ペイントHD(株)跡地整備資金に係る借入金返済額
- ▶ 2018年度工大大宮キャンパス3.4号館および広国大呉キャンパス教育会館・クラブハウス建設資金に係る借入金返済額

当年度収支差額

基本金を組み入れた結果、11億円の収入超過となりました。

(3) 貸借対照表の概要について

(単位：億円)

科目		22年度	21年度	差異
資産の部	固定資産	2,453	2,391	63
	有形固定資産	1,577	1,565	13
	（土地）	(492)	(499)	(△ 7)
	（建物・構築物）	(902)	(893)	(9)
	（建設仮勘定）	(25)	(12)	(13)
	（教育研究用機器備品）	(58)	(61)	(△ 3)
	（図書）	(97)	(97)	(0)
	特定資産	598	555	43
	（第3号基本金引当特定資産）	(44)	(43)	(1)
	（退職給与引当特定資産）	(112)	(112)	(0)
	（教育研究引当特定資産）	(15)	(7)	(8)
	（資金運用引当特定資産）	(148)	(134)	(13)
	（将来計画引当特定資産）	(279)	(258)	(21)
その他の固定資産	278	270	8	
（有価証券）	(276)	(268)	(8)	
流動資産	241	232	9	
（現金預金）	(176)	(161)	(15)	
（未収入金）	(11)	(11)	(0)	
（有価証券）	(50)	(56)	(△ 6)	
合計	2,694	2,622	72	
負債の部	固定負債	275	277	△ 2
	（長期借入金）	(162)	(164)	(△ 2)
	（退職給与引当金）	(112)	(112)	(0)
	流動負債	141	127	14
	（短期借入金）	(52)	(38)	(14)
	（未払金）	(17)	(15)	(2)
（前受金）	(59)	(59)	(0)	
合計	416	404	12	
純資産の部	基本金	2,533	2,483	49
	第1号基本金	2,463	2,414	49
	第3号基本金	44	43	1
	第4号基本金	26	26	0
	繰越収支差額	△ 254	△ 265	11
	翌年度繰越収支差額	△ 254	△ 265	11
合計	2,279	2,219	60	
負債及び純資産の部合計	2,694	2,622	72	

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

※ 主な科目の（ ）は内数です。

資産の部

有形固定資産

摂大寝屋川キャンパス3号館および工大大宮キャンパス5号館の新築による建物の増額、摂大枚方キャンパス薬樹園の土地減額により13億円の増額となりました。

特定資産

本学では、退職給与引当特定資産のほか、第3号基本金引当、教育研究引当、資金運用引当、将来計画引当特定資産があります。

将来計画引当特定資産等の追加引当等により、全体で43億円の増額となりました。

流動資産

現金預金の増額と有価証券の減額等により、全体で9億円の増額となりました。

負債の部

固定負債

返済期限が1年以内の長期借入金を流動負債に振り替えたことにより、長期借入金が2億円の減額となりました。

流動負債

1年以内に返済の必要がある短期借入金の増額等により、全体で14億円の増額となりました。

純資産の部

基本金

基本金組入対象資産（土地・建物・構築物・教育研究用機器備品・ソフトウェア等）が49億円の増額となりました。

繰越収支差額

前年度繰越収支差額に当年度繰越収支差額を加算した翌年度繰越収支差額は11億円改善し、△254億円となりました。

(4) 財務状況の5ヵ年推移について

① 資金収支計算書の推移 (2018年度～2022年度)

(単位：億円)

科目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
収入の部					
学生生徒等納付金収入	290	287	306	321	330
手数料収入	12	11	10	10	9
寄付金収入	2	3	3	3	5
補助金収入	55	45	61	62	59
(国庫補助金収入)	(37)	(28)	(45)	(45)	(41)
(地方公共団体等補助金収入)	(18)	(18)	(16)	(17)	(17)
資産売却収入	286	446	348	323	217
付随事業・収益事業収入	9	9	12	11	11
受取利息・配当金収入	12	12	11	14	14
雑収入	13	10	9	11	13
借入金等収入	47	47	68	30	50
前受金収入	48	57	61	59	59
その他の収入	84	144	69	62	68
資金収入調整勘定	△ 66	△ 54	△ 76	△ 72	△ 70
前年度繰越支払資金	146	156	177	157	161
収入の部合計	938	1,173	1,058	990	926
支出の部					
人件費支出	202	196	205	211	215
教育研究経費支出	78	77	99	89	96
管理経費支出	22	26	17	18	21
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	34	39	45	32	38
施設関係支出	63	102	72	24	67
設備関係支出	13	35	15	12	12
資産運用支出	363	514	420	430	288
その他の支出	30	33	42	29	30
資金支出調整勘定	△ 23	△ 27	△ 15	△ 15	△ 17
翌年度繰越支払資金	156	177	157	161	176
支出の部合計	938	1,173	1,058	990	926

注1) 単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

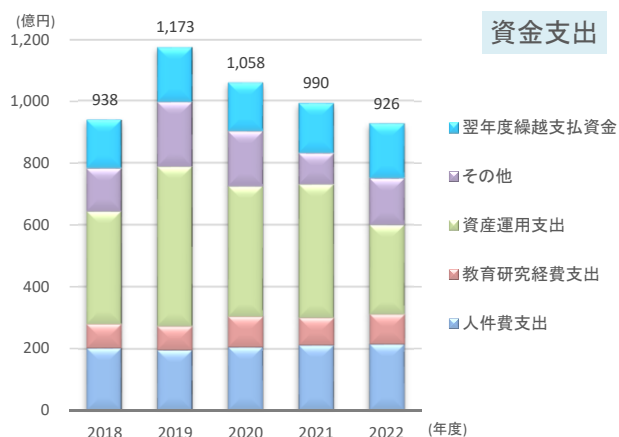
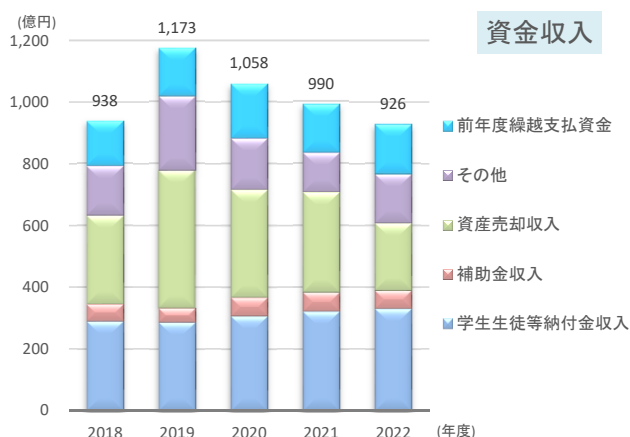
注2) 主な科目の()は内数です。

◆収入面

- ・設置大学の学部改組および定員変更ならびに学費改定後の年次進行による学生生徒等納付金収入の増加。
- ・財務活動(資金運用)等による10億円以上の受取利息・配当金収入の確保。
- ・共同研究等による外部資金の受入による付随事業・収益事業収入の増加。
- ・広国大広島C売却等による資産売却収入(2019年度)

◆支出面

- ・コロナ支援対策により教育研究経費が増加(2020年度)
- ・コロナ禍の影響による各種行事・計画の中止、出張取り止め等に伴う教育研究経費の減少(2021年度)
- ・大型工事の実施がなかったことによる施設関係支出の減少(2021年度)
- ・工大大宮C4号館、摂大枚方C8号館、広国大東広島C ActiveWellnessセンター新築(2019年度)



② 事業活動収支計算書の推移（2018年度～2022年度）

（単位：億円）

科目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
教育活動収支	学生生徒等納付金	290	287	306	321	330
	手数料	12	11	10	10	9
	寄付金	2	4	2	2	3
	経常費等補助金	45	43	48	56	54
	付随事業収入	9	9	12	11	11
	雑収入	13	10	9	11	13
	収入計	370	365	387	411	420
	人件費	202	197	205	211	215
	（退職給与引当金繰入額）	(14)	(8)	(10)	(11)	(14)
	教育研究経費	127	126	154	144	150
	（減価償却額）	(49)	(48)	(55)	(55)	(54)
	管理経費	29	32	24	25	27
（減価償却額）	(7)	(7)	(7)	(7)	(6)	
支出計	358	356	383	379	392	
収支差額	13	9	4	31	28	
教育活動外収支	受取利息・配当金	12	12	11	14	14
	収入計	12	12	11	14	14
	借入金等利息	0	0	0	0	0
	支出計	0	0	0	0	0
収支差額	12	12	11	14	14	
経常収支差額	24	21	15	45	42	
特別収支	資産売却差額	4	15	2	3	10
	その他の特別収入	13	3	16	8	9
	収入計	17	19	18	12	19
	資産処分差額	3	1	3	4	1
	その他の特別支出	0	1	0	0	0
支出計	3	3	3	4	1	
収支差額	14	16	15	8	17	
基本金組入前当年度収支差額	39	36	31	53	60	
基本金組入額	△ 25	△ 62	△ 52	△ 34	△ 49	
当年度収支差額	13	△ 25	△ 22	20	11	
前年度繰越収支差額	△ 250	△ 237	△ 263	△ 284	△ 265	
基本金取崩額	0	0	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△ 237	△ 263	△ 284	△ 265	△ 254	

（参考）

事業活動収入計	399	395	416	436	454
事業活動支出計	361	359	385	383	394

注1) 単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

注2) 主な科目の（ ）は内数です。

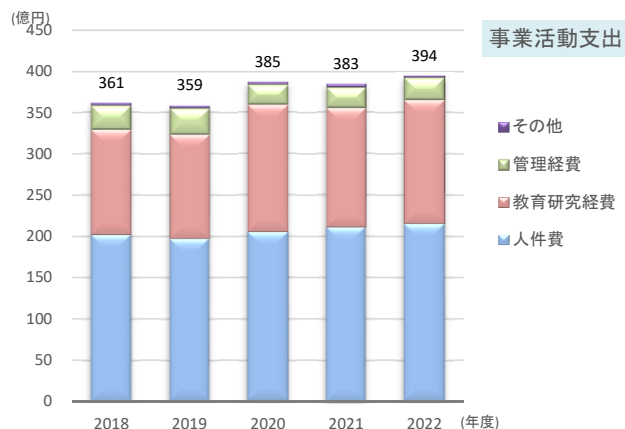
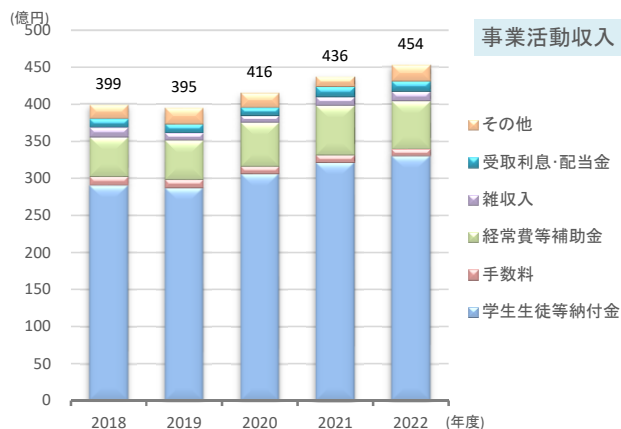
◆事業活動収入は増加傾向

・2020年度に開設した摂大・広国大の新学期、学費改定、収容定員増加等の理由により学生生徒等納付金が増加。

◆収支差額の推移

・経常的な収支である教育活動収支差額・経常収支差額はプラスを維持。

・コロナ禍の経費支出減少に伴う教育研究活動収支差額、経常収支差額、事業活動収支差額の増加（2021年度）



③ 貸借対照表の推移（2018年度～2022年度）

（単位：億円）

科目		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
資産の部	固定資産	2,232	2,286	2,343	2,391	2,453
	有形固定資産	1,520	1,567	1,592	1,565	1,577
	（土地）	(513)	(499)	(499)	(499)	(492)
	（建物・構築物）	(845)	(875)	(926)	(893)	(902)
	（教育研究用機器備品）	(47)	(67)	(66)	(61)	(58)
	（図書）	(96)	(96)	(97)	(97)	(97)
	特定資産	511	505	494	555	598
	（第3号基本金引当特定資産）	(43)	(43)	(43)	(43)	(44)
	（退職給与引当特定資産）	(111)	(112)	(113)	(112)	(112)
	（将来計画引当特定資産）	(247)	(228)	(208)	(258)	(279)
その他の固定資産	201	215	258	270	278	
（有価証券）	(195)	(212)	(255)	(268)	(276)	
流動資産	231	239	229	232	241	
（現金預金）	(156)	(177)	(157)	(161)	(176)	
（有価証券）	(49)	(49)	(49)	(56)	(50)	
合計	2,464	2,526	2,572	2,622	2,694	
負債の部	固定負債	246	248	285	277	275
	（長期借入金）	(134)	(136)	(172)	(164)	(162)
	（退職給与引当金）	(111)	(112)	(113)	(112)	(112)
	流動負債	120	142	122	127	141
	（短期借入金）	(39)	(45)	(32)	(38)	(52)
（前受金）	(48)	(57)	(61)	(59)	(59)	
合計	365	391	407	404	416	
純資産の部	基本金	2,336	2,398	2,450	2,483	2,533
	第1号基本金	2,269	2,331	2,382	2,414	2,463
	第2号基本金	0	0	0	0	0
	第3号基本金	43	43	43	43	44
	第4号基本金	24	24	24	26	26
	繰越収支差額	△ 237	△ 263	△ 284	△ 265	△ 254
合計	2,098	2,135	2,165	2,219	2,279	
負債及び純資産の部合計		2,464	2,526	2,572	2,622	2,694
（参考）						
減価償却累計額		910	929	971	1,013	1,061

注1) 単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
注2) 主な科目の（ ）は内数です。

◆資産

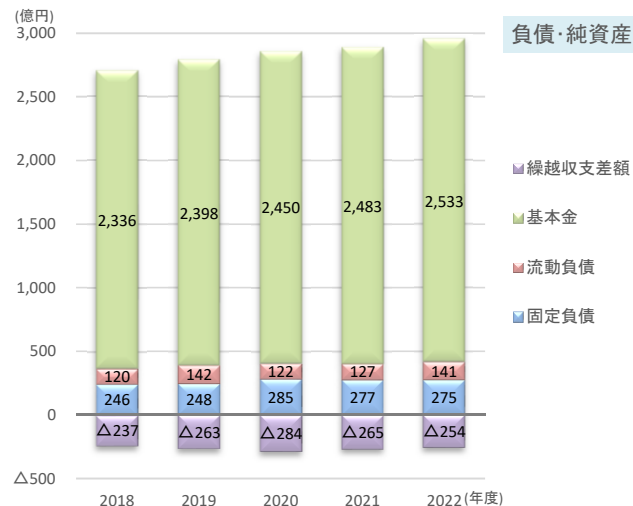
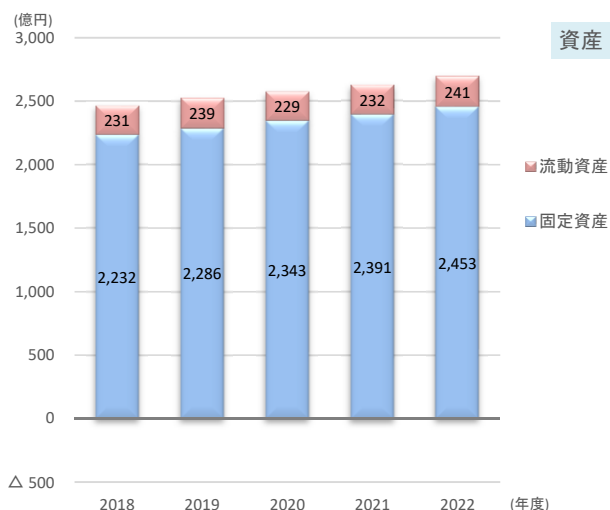
・キャンパス整備計画や将来に向けた一定の備えとしての特定資産、資産の効果的な運用を図ることを目的とした有価証券の購入等により固定資産が増加。

◆負債

・キャンパス整備等の大型工事に伴う借入、翌年度返済予定借入金を短期借入金に振り替えたことによる2022年度借入金の増加。

◆基本金

・キャンパス整備に伴う建物等（固定資産）の増加により第1号基本金が増加。



(5) 財務比率の5ヵ年推移について

① 主な事業活動収支関係比率の推移 (2018年度～2022年度)

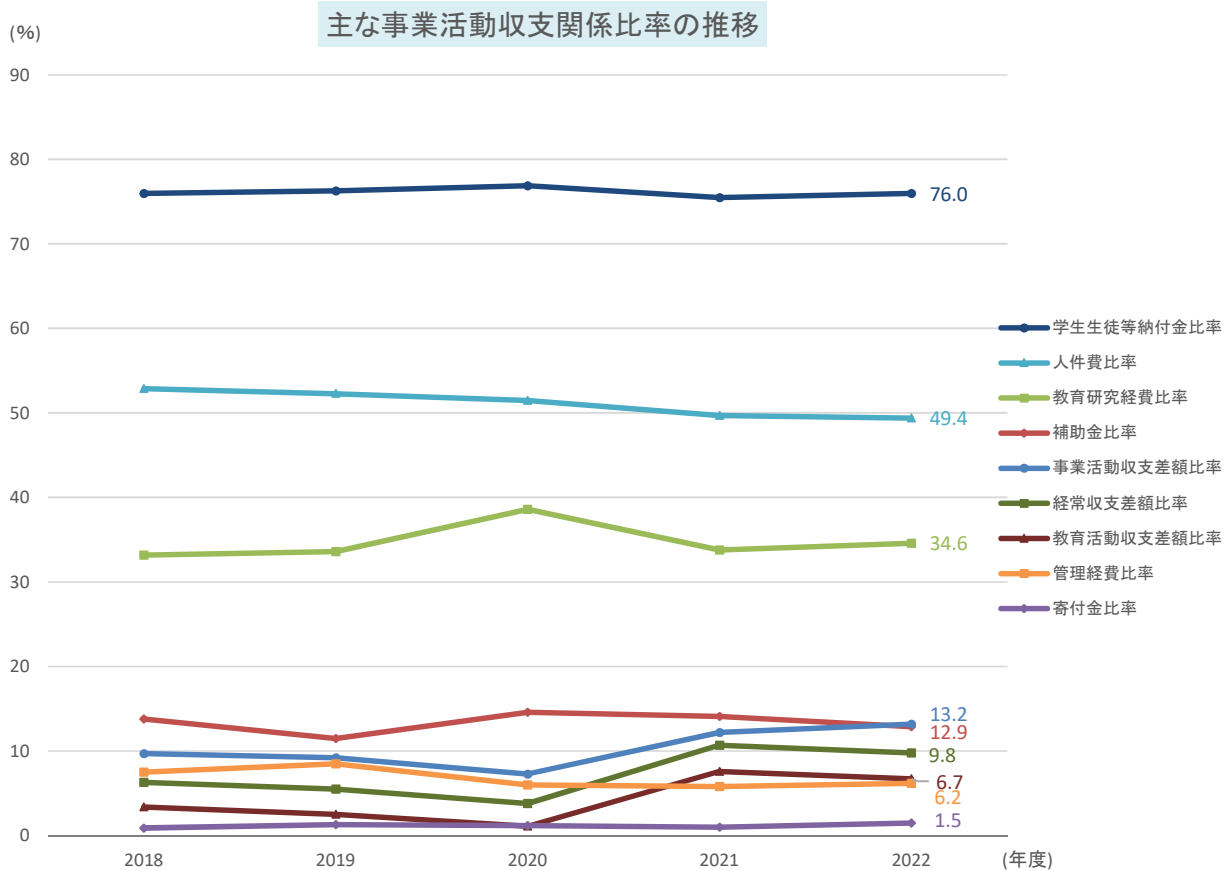
(単位：%)

比率		算式 (×100)	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	全国平均 2021年度
教育活動収支差額比率	△	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入}}$	3.4	2.5	1.1	7.6	6.7	4.2
経常収支差額比率	△	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	6.3	5.5	3.8	10.7	9.8	5.9
事業活動収支差額比率	△	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	9.7	9.2	7.3	12.2	13.2	6.4
学生生徒等納付金比率	～	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	76.0	76.3	76.9	75.5	76.0	73.6
補助金比率	△	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	13.8	11.5	14.6	14.1	12.9	14.3
寄付金比率	△	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.9	1.3	1.2	1.0	1.5	2.2
人件費比率	▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	52.9	52.3	51.5	49.7	49.4	51.3
教育研究経費比率	△	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	33.2	33.6	38.6	33.8	34.6	34.3
管理経費比率	▼	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	7.5	8.5	6.0	5.8	6.2	8.3

※ △：高い値の方が良い ▼：低い値の方が良い ～：どちらともいえない

※ 全国平均：日本私立学校振興・共済事業団「令和4年度版 今日私学財政」（医歯系法人を除く）より

- ・コロナ支援対策による事業収支差額比率の減少(2020年度)
- ・経常的収支のプラスを維持し、全国平均を上回る事業活動収支差額比率で推移。



② 主な貸借対照表関係比率の推移（2018年度～2022年度）

（単位：％）

比率		算式（×100）	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	全国平均 2021年度
固定資産構成比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	90.6	90.5	91.1	91.2	91.1	85.9
流動資産構成比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	9.4	9.5	8.9	8.8	8.9	14.1
内部留保資産比率	△	$\frac{\text{運用資産}-\text{総負債}}{\text{総資産}}$	22.1	21.9	21.3	24.3	25.4	27.5
流動比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	193.1	168.2	187.5	182.6	170.9	262.9
積立率	△	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	85.6	87.0	84.8	89.1	91.5	78.4
負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	17.4	18.3	18.8	18.2	18.2	13.6
基本金比率（第1号基本金）	△	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	93.4	93.8	93.2	93.9	93.6	97.3

※ △：高い値の方が良い ▼：低い値の方が良い ～：どちらともいえない

※ 全国平均：日本私立学校振興・共済事業団「令和4年度版 今日私学財政」（医歯系法人を除く）より

◆固定資産に係る比率は高い傾向

・本学園が経営を持続的かつ安定的に継続するために必要な運用資産の保有に努める中で、将来的な財政基盤の安定化のための特定資産の増加、低金利下における有利な運用条件による有価証券の保有によるもの。

◆短期的な支払能力の確保

・本学園の特定資産には特定資産化している預金を含んでおり、これらを含めた資金の流動性の確保に努めている。

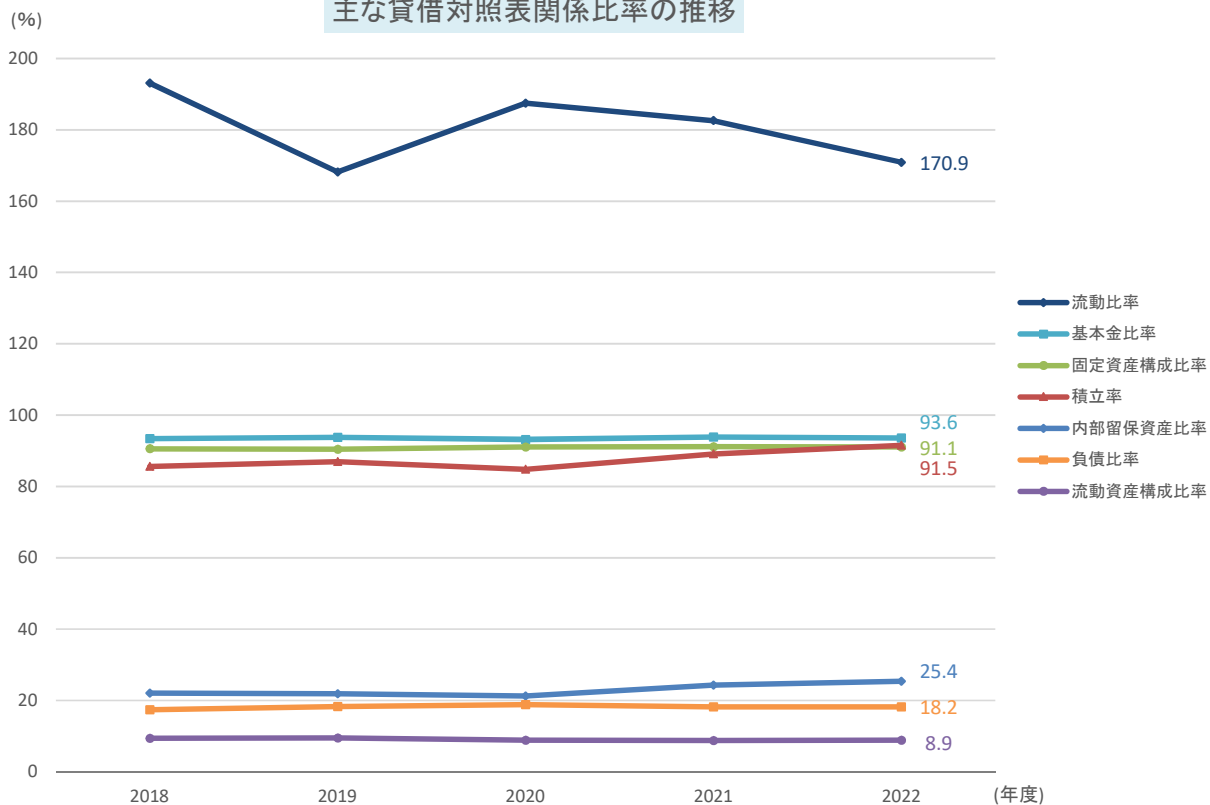
◆その他

・キャンパス整備、耐震工事等の大型工事の資金調達、低金利下における効果的な資金運用により、負債比率は高い傾向。

・2019年度および2022年度流動比率の低下は長期借入金（固定負債）を短期借入金（流動負債・翌年度返済）に振り替えたことによる。

・経営を持続的かつ安定的に継続するため必要な運用資産の保有状況を示す積立率は平均を上回っている。

主な貸借対照表関係比率の推移



3. その他

(1) 有価証券の状況 (2023年3月31日現在)

(単位：百万円)

種類	貸借対照表計上額	時価	差額
債券	53,443	52,502	△941
株式	0	0	0
投資信託	687	761	75
貸付信託	0	0	0
その他	9,822	10,431	609
合計	63,952	63,695	△257
時価のない有価証券	7,500		
有価証券合計	71,452		

(2) 借入金の状況 (2023年3月31日現在)

(単位：百万円)

借入先		残高
公的金融機関	日本私立学校振興・共済事業団	3,878
市中金融機関	A銀行	8,678
	B銀行	7,300
	C銀行	1,500
	D銀行	70
合計		21,426

(3) 補助金の状況 (2022年度実績)

(単位：百万円)

種別	国庫補助金	地方公共団体補助金等	合計
経常費補助金	2,158	1,076	3,234
授業料減免費交付金・授業料支援補助金	1,464	636	2,101
施設整備費補助金	507	0	507
その他	17	12	29
合計	4,146	1,724	5,870

(4) 出資会社の状況

会社名称	株式会社常翔ウェルフェア
事業内容	保険募集業務、食堂・コンビニエンスストア等の経営、書籍・教材等の印刷・販売、施設賃貸の仲介・斡旋等
資本金	2,000万円 (本学100%出資)
取引内容	学生・生徒の福利厚生事業等

4. 経営上の課題、今後の方針・対応方策

本学園は安定した財政基盤を築くため、事業活動収支差額比率を恒常的に8%を超えることを目標としています。そのためには継続的に教育活動収支差額や経常収支差額の黒字を確保することが重要になります。収入面においては学生生徒等納付金の安定的確保、適切なリスク管理に基づく資産の運用、寄付金収入の増加に向けた施策の実施。支出面においては、将来の発展に向けた新規事業の推進、既存予算の費用対効果の検証を行う等、財源投資の最適化を図るとともに、将来に備えた特定資産の積立により強固な財政基盤を構築して参ります。これらの施策により更なる教育・研究の質向上に取り組み、持続可能な社会(SDGs)の創出と発展に貢献する「選ばれる学校」であり続けることを目指します。